



9月中旬、2学年の「総合実践」では、日本郵便株式会社主催「手紙作文コンクール」の絵手紙部門へ応募した作品の校内展示をしました。この取り組みは7月に日本郵政グループの方々に講師をしていただいた中の「ビジネスにおける手紙・はがきの威力」、ビジネスに役に立つ「素敵な大人の嗜みとしての絵手紙」についてお話を聞いたときに出た課題で、夏季休業中に生徒たちが作成した作品になります。このコンクールの目的は、将来を担う子どもたちが手紙に親しみ、手紙を書く機会を増やすことで意思を相手に伝える能力を向上させるとともに、文章表現によるコミュニケーションの魅力を知ってもらうことで、手紙文化の一層の振興を図り、心豊かな子どもたちを育てる目的としています。普段、ほとんどがSNSを使っているコミュニケーションをおこなう世代の生徒たちにとっては、とても新鮮な取り組みだったようで、「伝えよう、夏の思い出、あの人に。」と特定の相手に自分の体験したことや考えなどを伝えるために、思い思いに絵や文章を使って作品を表現していました。

